

研究開発成果 実装支援プログラム  
平成22年度 報告書

実装活動の名称

「発達障害の子どもと家族への早期支援システムの社会実装」

採択年度 平成21年度

実装機関名 国立精神・神経医療研究センター/精神保健研究所

実装責任者 神尾 陽子

## 1. 概要

最近、発達障害のある子どもへの育ちについて、早期診断と早期介入が重要であることがわかってきた。わが国では発達障害者支援法（平成17年施行）が発達障害の早期発見と早期支援を掲げているものの、取り組みは始まったところである。本研究はわが国の全国に普及している乳幼児健診システムに注目し、これまで重視されていなかったノンバーバルな対人コミュニケーションの発達に関するアセスメントについて地域の乳幼児の発達にかかわる専門家（保健師や小児科医など）が専門的知識を学び、支援に活用できるような学習ツールを開発し、さらに地域内で知識と経験を共有できるようにe-learningなどで地域全体を支援することを目的とする。期待される成果は、全国どこの地域においても、専門家が発達障害の早期徴候を的確に把握し、さらにひとりひとりの子どものアセスメント結果に基づいた継続的な支援とフォローにつなげることが可能となるような、地域の早期支援システム実装を促すことに貢献することである。

## 2. 実装活動の具体的内容

H21年度に行った自治体の実態とニーズの把握、地域での啓発活動準備、そして今年度も引き続き行ってきた実装協力者（多職種チーム）への継続的な研修を経て、H22年度は以下の活動に着手した。

- **実装対象の実情に応じた系統的研修プログラムの開発**：プログラムは、昨年度撮像したDVD素材から編集した画像素材とあらたに作成したDVD教材、そして達成度確認の問題としては、基礎的知識を問うものと研修用ケース（保護者へは趣旨説明の上、同意をいただいている）のアセスメント能力の向上を調べる問題である。自治体ごとに実際の研修の実施方法（個人/集団）は異なっていたため、研修教材は自治体の事情に合わせて、DVDと紙媒体での配布あるいは、e-learning方式の2通りで提供した。今年度開発したプログラム内容は、主に乳幼児健診を担う保健師、一部、心理職、福祉職が受けた。基礎的内容の多くは、職種を問わずに必要な共通の内容であったため、来年度は、同教材を心理職、福祉職、小児科医を対象とする研修プログラムにも活用する予定である。また職種によって異なる内容も当然、あるので、これについても来年度の課題としたい。
- **実装地域での研修プログラムの導入とその有用性検討**：昨年度の報告書作成時点では、対象実装地域は、京都府舞鶴市と愛媛県新居浜市のみであったが、今年度は、「協体制の組める自治体を増やすように」という中間評価コメントに沿って、研修や講演などの機会を通じて募った結果、千葉県市川市、東京都江東区、長野県諏訪管区、静岡県、高知県など合計6自治体まで増やすことができた。研修プログラム終了者は合計134名となった。研修プログラムの効果検証については現在、最終データを解析検討中である。
- **自治体の市民向け啓発活動の成果検証**：昨年度から始めた自治体での市民向け啓発活動の一つに、0歳での乳幼児健診受診者全員（7か月、10か月）に保護者向け啓発リーフレット（JST研究成果）の配布がある。発達障害の早期発見は通常1歳6か月健診から3歳までが重要となるが、それよりも早い時期でのリーフレット配布が後の健診での対応に変化をもたらすかどうかは検証するのが困難であるが、実施した京都府舞鶴市や福岡県宗像市では、こ

の時期の遊び方がわかってよかった、といった市民の声が聞かれたということで、来年度以降も直接配布を継続する予定、と聞いている。

- **自治体による地域内早期支援システム実装の試行**：自治体の健診担当者は常勤、非常勤を合わせると数的には大きな集団となり、職員間で知識や経験の共有が難しいのが実情である。そこで、自治体内の実装協力者による他の職員向けの研修活動として、経験をデータベース化していくことが重要となる。そのため、これまで経験に頼っていた対人コミュニケーション面の発達チェックや発達障害の早期兆候のスクリーニング、そしてその後の発達評価をそれぞれの場面毎に定式化した。新居浜市の健診スタッフ(保健師、臨床心理士、児童精神科医)は継続的研修を通してこれらの適切な使い方を習得した後、H22年度の7-8月の試行期間に1歳6ヵ月健診を受診した児から悉皆的に対人コミュニケーションのデータを収集し、実装チームのスーパーバイズのもとその解釈を行い、支援が必要と思われたケースを発見した。これらのうち、保護者の希望のあるケースに対してフォロー面接を行い評価されたニーズに基づき、支援を開始した。来年度も引き続き継続する予定である。

### 3. 理解普及のための活動とその成果

#### (1) 展示会への出展等

なし

#### (2) 研修会、講習会、観察会、懇談会、シンポジウム等

年月日	名称	場所	概要	ステークホルダー	社会的インパクト
2010.7.12	実装支援プログラム 集団研修	市川市保健センター	保健師28名を対象にM-CHAT導入に際してのスキルアップ研修(M-CHATの講義とケース検討)を実施した。	1歳半健診, 3歳児健診, および地域の発達支援センター等で早期療育に携わる保健師	健診を担う保健師がM-CHATを実施する際の臨床スキルを向上させることで、的確な早期スクリーニング, および早期支援が可能になる。
2011.7.23	実装支援プログラム 集団研修	新居浜市保健センター	保健師14名を対象にM-CHAT導入に際してのスキルアップ研修(M-CHATの講義とケース検討)を実施した。	同上	同上

実装支援プログラム 年度報告書 様式

2010.8 .12	実装支援プログラム 集団研修	日野市健康福祉部	保健師16名を対象にM-CHAT導入に際してのスキルアップ研修 (M-CHATの講義とケース検討) を実施した。	同上	同上
2010.9 .6	実装支援プログラム 集団研修	東京都江東区保健所	保健師9名, 医師1名を対象にM-CHAT導入に際してのスキルアップ研修 (M-CHATの講義とケース検討) を実施した。	1歳半健診, 3歳児健診, および地域の発達支援センター等で早期療育に携わる医師, 保健師	同上
2010. 10.29	実装支援プログラム 集団研修	諏訪保健福祉事務所	保健師25名, 心理士1名を対象にM-CHAT導入に際してのスキルアップ研修 (M-CHATの講義とケース検討) を実施した。	1歳半健診, 3歳児健診, および地域の発達支援センター等で早期療育に携わる保健師, 心理士	同上
2010. 11.14.	2010年度臨床発達心理士 第2回資格更新研修会.	日本大学文理学部, 東京	臨床発達心理士約130名を対象に, 自閉症スペクトラム幼児のコミュニケーション行動とそのアセスメント方法について講義した。	乳幼児の発達についてのアセスメント, 親の相談・心理教育, 療育などを行う人	子どものニーズが早期に気づかれ, 適切な対応をうけることができ, また親に対しては育児不安等が軽減される。
2010. 11.19.	2010年度諏訪管内保健研修会.	諏訪保健福祉事務所, 長野	乳幼児健診に関わる保健師, 心理職約60名を対象に, 発達早期の自閉症スペクトラムのコミュニケーション行動とそのアセスメント方法について講義した。	乳幼児健診で, 発達障害を抱える子どもをスクリーニングする人, アセスメントする人	ニーズのある子どもたちが早期に支援につながり, その後の発達が改善される。
2010. 12.7	実装フォローアップ・ミーティング	国立精神・神経医療研究センター	舞鶴市で導入予定であるM-CHATの実施状況の報告を受け, 改善点などを議論した。また, 個	1歳半健診, 3歳児健診, および地域の発達支援センター等で早期療育に携わる医師, 心	自治体で行っている健診において, M-CHATを導入する際の具体的な方法や流

実装支援プログラム 年度報告書 様式

			別のケースについてのケースカンファレンスを実施した。 参加者は医師1名、心理士2名、舞鶴市職員1名であった。このミーティングでは、舞鶴とテレビ会議システムで結び、舞鶴の保健師も参加して実施された。	理士，市職員	れ，および改善点などについて議論することで、その地域に合った効率的で確かな健診を行うことが可能となる。さらに療育との連携も視野に入れることで、スクリーニングから療育へという支援体制の構築に繋がる。
2011 . 1.17 (実施 開始 日)	実装支援プログラム イーラーニング研修	インターネット(ネットワーク上)	総登録者数64名である。参加者は、職場や自宅などでインターネットを介してM-CHATの講義を視聴し、到達度を測るテストを実施している。	地方自治体の保健所，及び福祉事務所など1歳半健診，3歳児健診に携わる部署の医師や保健師，心理士，障害者支援センターや子育て支援センターなどで療育に携わる心理士や指導員が参加登録をしている。 参加自治体は高知県，新潟県，静岡県である。	インターネットの学習システムを用いることで、これまで物理的に制限があった研修を日本全国場所や時間を問わず手軽にM-CHATの研修を受けることができることが最大の利点である。更にコンテンツを増やし、地域の専門家の研修の機会を提供することへと繋げることができる。
2011 . 2.1	実装支援プログラム 集団研修2回目	新居浜市保健センター	保健師14名を対象にM-CHAT導入に際してのスキルアップ研修(M-CHATの講義とケース検討)を実施した。	1歳半健診，3歳児健診，および地域の発達支援センター等で早期療育に携わる保健師	2回同じケースを検討することで、前回見逃していた視点や異なった視点に気づき、健診を担う専門家がよりM-CHATの理解

実装支援プログラム 年度報告書 様式

					を深めることができる。これによりさらに的確な早期スクリーニング、および早期支援が可能となる。
2011.2.3	実装支援プログラム 集団研修 2回目	諏訪保健福祉事務所	保健師25名, 心理士1名を対象にM-CHAT導入に際してのスキルアップ研修 (M-CHATの講義とケース検討) を実施した。	1歳半健診, 3歳児健診, および地域の発達支援センター等で早期療育に携わる保健師, 心理士	同上
2011.2.8	実装支援プログラム 集団研修 2回目	東京都江東区保健所	保健師9名, 医師1名を対象にM-CHAT導入に際してのスキルアップ研修 (M-CHATの講義とケース検討) を実施した。	1歳半健診, 3歳児健診, および地域の発達支援センター等で早期療育に携わる医師, 保健師	同上
2011.2.18	実装フォローアップ・ミーティング	国立精神・神経医療研究センター	新居浜市で導入予定であるM-CHATの実施状況の報告, および改善点などを議論した。また, 個別のケースについてのケースカンファレンスを実施した。 参加者は保健師2名, 心理士1名であった。	1歳半健診, 3歳児健診, および地域の発達支援センター等で早期療育に携わる保健師	自治体で行っている健診において, M-CHATを導入する際の具体的な方法や流れ, および改善点などについて議論することで, その地域に合った効率的で確かな健診を行うことが可能となる。さらに療育との連携も視野に入れることで, スクリーニングから療育へという支援体制の構築に繋がる。

2011.3.8	実装支援プログラム 集団研修	市川市保健センター	保健師31名を対象にM-CHAT導入に際してのスキルアップ研修(M-CHATの講義とケース検討)を実施した。	1歳半健診, 3歳児健診, および地域の発達支援センター等で早期療育に携わる保健師	2回同じケースを検討することで, 前回見逃していた視点や異なった視点に気づき, 健診を担う専門家がよりM-CHATの理解を深めることができる。これによりさらに的確な早期スクリーニング, および早期支援が可能となる。
----------	----------------	-----------	--	---	---

- ・ 神尾陽子. 早期発見・早期対応(ケア)について. 発達障害施策に関する勉強会. 厚生労働省障害保健福祉部障害福祉課主催, 東京, 2010.6.17.
- ・ 神尾陽子. 発達の観点から自閉症スペクトラムを考える. 京都大学大学院医学研究科精神医学講座, 京都, 2010.7.14.
- ・ 神尾陽子. ライフステージに応じた自閉症支援のあり方をめぐって. 第24回全国自閉症者施設協議会長野大会, 長野, 2010.11.11.
- ・ 神尾陽子. 自閉症スペクトラム障害の言語特性を踏まえた療育・保育支援. 第20回障害児保育セミナー. 障害児保育セミナー実行委員会主催, 栃木県 栃木県社会福祉協議会 栃木県小児科医会後援 栃木, 2010.11.28.
- ・ 神尾陽子. 発達障害に注目したわが国の子どものメンタルヘルスの研究:疫学調査成果から予防的介入へ. 山梨大学との合同シンポジウム, 国立精神・神経医療研究センター, 東京, 2010.11.29
- ・ 神尾陽子. 発達障害への多面的アプローチ:発達という観点から. アメニティフォーラム15記念大会. アメニティフォーラム実行委員会, 全国地域生活支援ネットワーク主催, 大津, 2011.2.5.
- ・ 神尾陽子. 発達とところの両方の観点からみた子どものメンタルヘルス:自閉症を中心に. エコチルやまなしフォーラム 2011 春. エコチル調査甲信ユニットセンター主催, 甲府, 2011.2.26.
- ・ 神尾陽子. 発達障害における早期発見と早期介入の意義:ライフステージの観点から. 平成22年度精神保健に関する技術研修. 第5回発達障害早期総合支援研修. 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所, 東京, 2010.6.23.
- ・ 神尾陽子. 乳幼児期の発達チェックポイント. 平成22年度精神保健に関する技術研修. 第

- 5回発達障害早期総合支援研修. 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所, 東京, 2010.6.24.
- ・神尾陽子. 自治体でのハイリスク児スクリーニングの実際. 平成 22 年度精神保健に関する技術研修. 第 5 回発達障害早期総合支援研修. 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所, 東京, 2010.6.25.
  - ・神尾陽子. 発達障害児・者の自立に向けて今何ができるか: 幼児期から取り組めること. 和歌山県発達障害者支援センターポラリス講演会. 和歌山, 2010. 8. 28.
  - ・神尾陽子. 発達障害児・者に対するライフステージに応じた支援をめぐって. 第 28 回福島精神科治療懇話会. 福島, 2010.10.2.
  - ・神尾陽子. 自閉症スペクトラムの早期発見と早期介入の意義. 平成 22 年度発達障害支援従事者養成研修会. 徳島県, 鳴門教育大学, 徳島県医師会主催. 徳島, 2010.10.9.
  - ・神尾陽子. 自閉症スペクトラム児の早期診断と支援のために. 言語聴覚士研修会, 国立障害者リハビリテーションセンター主催, 所沢, 2010. 11. 24.
  - ・神尾陽子. ライフステージに応じた自閉症スペクトラム者への支援のありかた. 平成 22 年度発達障害支援者研修会. 高知県立精神保健福祉センター、高知県中央西福祉保健所主催, 高知, 2010.12.21.

### (3) 新聞報道、TV放映、ラジオ報道、雑誌掲載等

舞鶴市の広報に早期発見・早期支援に取り組む記事に掲載されました。(平成22年春)

### (4) 論文発表 (国内誌 2 件、国際誌 2 件)

Inada, N., Koyama, T., Inokuchi, E., Kuroda, M., & Kamio, Y: Reliability and validity of the Japanese version of the Modified Checklist for Autism in Toddlers (M-CHAT). *Research in Autism Spectrum Disorders*, 5, 330-336, 2011.

Inada N, Kamio Y, & Koyama T: Developmental chronology of preverbal social behaviors in infancy using the M-CHAT: Baseline for early detection of atypical social development. *Research in Autism Spectrum Disorders*, 4, 605-611, 2010.

神尾陽子(2010): いま発達障害をどうとらえるか. *地域保健*, 41 (9), 24-31.

神尾陽子(2011): 自閉症スペクトラム障害の早期発見をめぐって. *教育と医学*, 691(1), 49-57.

## (5)WEBサイトによる情報公開

### 【児童・思春期精神保健研究部のHP】

- ・サイト名 児童・思春期精神保健研究部
- ・URL <http://www.ncnp.go.jp/nimh/jidou/index.html>
- ・内容 実装プログラムの紹介とJST, RESTEXの実装紹介ページへのリンクをしている。

その他、実装対象に限定して、以下を発信している。

### 【E-learningシステム】

- ・サイト名 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
- ・URL <https://www.nlsp.net/nimh/>
- ・実施手続き

研修受講希望者は、管理者に対して事前登録を申し入れ、ログインIDとパスワードの発行を受ける。

受講者は上記URLからログインIDとパスワードを入力して、イーラーニングサイトへ入る。受講者は講座一覧にあるコンテンツを指定し、視聴する。

視聴後、到達度確認のために確認問題を行う。全問正解すると合格となる。

管理者は、全ての受講者のコンテンツ視聴度合いや到達度確認問題の達成度を見ることが可能である。

システムはパナソニックラーニングシステムズ株式会社が提供しているイーラーニングシステムを用いているため、セキュリティに関する心配は無く、自前でサーバーとシステム構築するよりも安価で提供することが可能である。

## (6)口頭発表（国際学会発表及び主要な国内学会発表）

- ①招待講演 (国内会議 0 件、国際会議 0 件)
- ②口頭講演 (国内会議 1 件、国際会議 1 件)

Kamio, Y. (2010). The Utility of the Modified Checklist for Autism in Toddlers (M-CHAT) in the community-based health check-up at 18 months of age in Japan: From 5-years prospective study. Symposium “Early detection and interventions for the children of pervasive developmental disorders” The 19<sup>th</sup> World Congress of the International Association for Child and Adolescent Psychiatry and Allied Professions/ The 6<sup>th</sup> Congress of the Asian Society for Child and Adolescent Psychiatry and Allied Professions. June 4, Beijing.

井口英子, 稲田尚子, 小山智典, 神尾陽子 : 自閉症スペクトラム障害幼児にみられる限局的反復的行動 -2~4 歳での変化-日本児童青年精神医学会第 51 回総会, 群馬,

実装支援プログラム 年度報告書 様式

2010.10.27-30.

③ポスター発表 (国内会議 0 件、国際会議 0 件)

**(7) 特許出願**

なし

**(8) その他特記事項**

本年度の成果をもとに、来年度は対象を地域クリニックの小児科医（「北多摩小児医療推進協議会」を中心に）に広げて一層、実装プログラムを推進する予定である。